平成27年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年２月９日

上場会社名	パウダーテック株式会社	上場取引所	東
コード番号	5695	URL	http://www.powder-tech.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	隅田　洋
問合せ先責任者	(役職名) 常務取締役経営管理部長	(氏名)	徳重　秀人　(TEL) 04-7145-5751
四半期報告書提出予定日	平成27年２月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成27年３月期第３四半期の連結業績（平成26年４月１日～平成26年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年３月期第３四半期	7,532	4.8	1,001	△4.4	1,030	△4.1	639	△1.5
26年３月期第３四半期	7,190	1.2	1,048	32.4	1,074	34.8	649	40.7

(注) 包括利益 27年３月期第３四半期　624百万円 (△4.2%)　26年３月期第３四半期　651百万円 (43.0%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年３月期第３四半期	43.15	―
26年３月期第３四半期	43.81	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年３月期第３四半期	11,289	7,685	68.1
26年３月期	10,258	7,239	70.6

(参考) 自己資本 27年３月期第３四半期　7,685百万円　26年３月期　7,239百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年３月期	―	0.00	―	12.00	12.00
27年３月期	―	0.00	―		
27年３月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成27年３月期の連結業績予想（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,950	6.8	1,250	2.0	1,250	2.2	750	5.2	50.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規　—社（社名）　、除外　—社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年３月期３Ｑ	14,850,000株	26年３月期	14,850,000株
②　期末自己株式数	27年３月期３Ｑ	25,901株	26年３月期	24,701株
③　期中平均株式数（四半期累計）	27年３月期３Ｑ	14,824,788株	26年３月期３Ｑ	14,826,043株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における経済情勢は、米国では景気の緩やかな回復が続き、欧州では全体としては低成長が続いたもののドイツや英国が景気を下支えしました。新興国では国によっては伸び悩みの傾向が見られましたが、全体としては緩やかな成長が続きました。国内では、消費税率引上げの影響もあり個人消費に弱さが見られましたが、企業部門は設備投資を中心に底堅く推移いたしました。

このような経済環境のなか、電子写真用キャリアが使用されるオフィス用複写機・プリンターや商業用印刷機の市場は堅調な回復傾向を示しました。

食品の品質保持に使用される脱酸素剤市場は、消費税引き上げの影響はありましたが、消費者の安全・安心志向が底堅いこともあり堅調に推移いたしました。鉄粉の主要用途であるカイロにつきましては在庫調整等により前年同期を下回る生産となりました。

これらの市場環境下、当第３四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4.8%増加の7,532百万円となりました。

損益面では、主にキャリア事業の減益により、営業利益は1,001百万円（前年同期比4.4%減）、経常利益は1,030百万円（前年同期比4.1%減）、四半期純利益は639百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①キャリア事業

当セグメントにおきましては、堅調な需要の増加により、売上高は5,635百万円（前年同期比8.0%増）となりました。セグメント利益は、増販とコスト削減の成果はありましたが、棚卸資産圧縮による売上原価上昇が影響し1,177百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

②鉄粉事業

当セグメントにおきましては、脱酸素剤関連製品は前年同期を上回る販売となりましたが、カイロ用鉄粉の販売減により、売上高は1,896百万円（前年同期比3.9%減）となりました。セグメント利益は、カイロ用鉄粉の減販損を脱酸素剤関連製品の増販益でカバーし102百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、棚卸資産は減少しましたが、受取手形及び売掛金、預け金の増加により、266百万円増加いたしました。固定資産は、キャリア製品製造設備等の設備投資を行いましたので、763百万円増加いたしました。以上により、総資産は1,030百万円増加し11,289百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、未払金が増加しましたので、584百万円増加し3,603百万円となりました。借入金は前連結会計年度末と同額の294百万円となっております。

純資産は、445百万円増加し7,685百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.5%減少し68.1%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回発表時点に比べまして、電子写真用キャリアの第３四半期までの一部お客様における在庫確保の動きと年間を通じた堅調な需要による増販益を見込んでおります。

前回（平成26年11月4日）発表しました業績予想を下記のとおり上方修正いたします。

平成27年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	9,750	1,180	1,150	700	47	22
今回発表予想（B）	9,950	1,250	1,250	750	50	59
増減額（B-A）	200	70	100	50	3	37
増減率（%）	2.1	5.9	8.7	7.1		7.1
（ご参考）前期実績（平成26年３月期）	9,315	1,224	1,223	713	48	10

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成26年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	277,636	256,659
受取手形及び売掛金	1,073,837	1,381,319
商品及び製品	1,133,932	1,074,056
仕掛品	873,814	644,453
原材料及び貯蔵品	367,442	421,099
繰延税金資産	132,122	132,336
預け金	1,274,555	1,491,821
その他	34,653	33,325
貸倒引当金	△700	△853
流動資産合計	5,167,293	5,434,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,655,397	4,192,971
減価償却累計額	△2,455,642	△2,504,665
建物及び構築物（純額）	1,199,755	1,688,306
機械装置及び運搬具	6,839,478	7,025,142
減価償却累計額	△5,583,858	△5,890,507
機械装置及び運搬具（純額）	1,255,620	1,134,635
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	1,443,767	1,305,346
減価償却累計額	△1,199,533	△1,119,220
リース資産（純額）	244,234	186,126
建設仮勘定	252,776	707,110
その他	427,517	436,886
減価償却累計額	△360,316	△380,136
その他（純額）	67,201	56,750
有形固定資産合計	4,879,786	5,633,126
無形固定資産		
その他	1,865	1,865
無形固定資産合計	1,865	1,865
投資その他の資産		
投資有価証券	17,612	18,886
繰延税金資産	161,435	160,917
その他	35,903	45,559
貸倒引当金	△5,199	△5,199
投資その他の資産合計	209,750	220,163
固定資産合計	5,091,401	5,855,155
資産合計	10,258,695	11,289,372

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成26年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	822,394	971,265
1年内返済予定の長期借入金	98,000	98,000
リース債務	50,191	45,539
未払金	512,656	1,100,043
未払法人税等	317,965	143,049
未払事業所税	17,311	14,701
未払消費税等	4,181	80,263
賞与引当金	177,424	125,639
役員賞与引当金	28,000	－
その他	143,226	207,607
流動負債合計	2,171,351	2,786,111
固定負債		
長期借入金	196,000	196,000
リース債務	196,549	142,784
長期未払金	20,946	20,946
環境対策引当金	5,900	5,037
退職給付に係る負債	428,052	452,630
固定負債合計	847,447	817,399
負債合計	3,018,799	3,603,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	4,121,771	4,583,592
自己株式	△6,748	△7,170
株主資本合計	7,238,022	7,699,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,207	2,031
為替換算調整勘定	665	△15,590
その他の包括利益累計額合計	1,873	△13,559
純資産合計	7,239,896	7,685,862
負債純資産合計	10,258,695	11,289,372

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年12月31日）
売上高	7,190,099	7,532,334
売上原価	5,220,706	5,581,736
売上総利益	1,969,393	1,950,598
販売費及び一般管理費	921,125	948,616
営業利益	1,048,267	1,001,982
営業外収益		
受取利息	5,197	6,799
為替差益	22,274	36,034
貸倒引当金戻入額	7,396	－
その他	6,926	5,183
営業外収益合計	41,794	48,018
営業外費用		
支払利息	659	559
債権売却損	14,410	17,967
その他	983	988
営業外費用合計	16,053	19,514
経常利益	1,074,008	1,030,485
特別損失		
固定資産処分損	23,621	30,203
特別損失合計	23,621	30,203
税金等調整前四半期純利益	1,050,387	1,000,281
法人税等	400,816	360,556
少数株主損益調整前四半期純利益	649,570	639,725
四半期純利益	649,570	639,725

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	649,570	639,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	823
為替換算調整勘定	2,030	△16,256
その他の包括利益合計	1,935	△15,433
四半期包括利益	651,506	624,291
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	651,506	624,291

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第３四半期連結累計期間（自　平成26年４月１日　至　平成26年12月31日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日)

１．　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	キャリア事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注)１	四半期連結損益計算書計上額 (注)２
売上高					
外部顧客への売上高	5,217,062	1,973,037	7,190,099	―	7,190,099
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	5,217,062	1,973,037	7,190,099	―	7,190,099
セグメント利益	1,214,325	101,554	1,315,879	△267,612	1,048,267

(注)１．調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△267,612千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△266,363千円及び棚卸資産の調整額△1,248千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成26年４月１日　至　平成26年12月31日)

１．　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	キャリア事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注)１	四半期連結損益計算書計上額 (注)２
売上高					
外部顧客への売上高	5,635,420	1,896,914	7,532,334	―	7,532,334
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	5,635,420	1,896,914	7,532,334	―	7,532,334
セグメント利益	1,177,610	102,528	1,280,138	△278,156	1,001,982

(注)１．調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△278,156千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△278,271千円及び棚卸資産の調整額115千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。